【2024年５月 月間予定表 ―椚辻北校― 】 ◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

５月の予定

1	木	
2	金	
3	土	
4	日	ゴールデンウィーク休暇
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	休校日
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	休校日
16	金	
17	土	『定期テスト攻略講座』（山科・大宅中対象）
18	日	『定期テスト攻略講座』（山科・大宅中対象）
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	休校日
23	金	実力テスト（小３～中２） ・受験は希望制です。 ・小６SR にはご案内いたしません。
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	第２回中３V 模試
28	水	
29	木	休校日
30	金	
31	土	西京・洛北中適性模試①（小６対象）

※諸事情により予定を一部変更する場合があります。

【３月度のＭＶＰ】

●中学３年生　T.Y. くん

３月中、５教科すべての小テストを１発合格！

●中学２年生　Y.S. くん

学年末の内申が３点アップし、自己最高を更新！

５月行事について

●『定期テスト攻略講座』

中学生は、新学年初回の定期テストです。全教科高得点でスタートダッシュ！！

【 サクラサク 】

保護者の皆様、いつもお世話になっております。

「桜を見にいく」
そう言って、そのまま土佐を抜けて脱藩した坂本龍馬。
当時、生まれた藩を出る脱藩は死罪になることもある大罪です。
さらに、その罪は親類縁者にまで及びます。
しかし、日本を変えるためには、自由を確保するには、
なんとしても、脱藩しなければいけなかったんです。

ところで、なぜ日本人はお花見をするのでしょうか？
ある神社の神官の方が言っていたのですが、実は、お花見こそ、古代日本人が実践していた、夢（願い）を叶えるための引き寄せの法則だったというのです。
古代日本人の一番の願いは、稲がたわわに実り、お米がしっかりとれることです。
その願いの実現を引き寄せるためにやっていたのが、お花見だというのです。
どういうことか？
春に満開に咲く桜を、秋のお米の実りに見立てて、仲間とワイワイお酒を飲みながら先に喜び、お祝いすることで願いを引き寄せる。
これを「予祝（よしゅく）」というのだそうで、ちゃんと辞書にも載っています。
古代日本人がやっていた、夢の引き寄せの法則、それが「お花見」だったのです。
祝福を予め予定するのです。
先に喜び、先に祝うことで、その現実を引き寄せるというのが日本人がやっていた夢の叶え方なんだそうです。
お酒を飲みながら、お米がたわわに実ることを想像し、仲間とワイワイ先に喜んでしまう「前祝い」。
それが夢の引き寄せであり、お花見の由来だったのです。

そういえば東京のある進学塾で、受験生に東大の前で合格後をイメージした写真をとって、それを毎日持ち歩いて眺めさせる、そんなことをしていました。
これって予祝だったんですね。

予祝は、偉人たちも当たり前のように使っています。
ソフトバンクの孫正義さんは、プロジェクトを立ち上げる際は、
先に部屋のなかで ガッツポーズをして、そのプロジェクトが成功したときのことをイメージし、先に喜んじゃうそうです。まさに前祝い、予祝です。
発明王エジソンも、発明する前に、
「それをすでに発明しました」と発表することがよくありました。
もう先に記者発表して、できたことをお祝いしちゃうのです（笑）。

では、あなたなら何をお祝いしますか？
あなたが叶えたい願いは？

龍馬が見たかった桜とは、未来の日本。
龍馬は桜の先に、近代日本を夢見ていたわけです。

山積する問題を処理しきれない政府や不安定な世界情勢、
少子高齢化にともなう日本の将来への不安感…

今度は私たちの番です。
桜の向こうにどんな日本を夢見ますか？

行きましょうか、私たちも。
ほんとうの桜を見に……。

塾長　山田　大介